

南城市スポーツ少年団剣道交流大会「防具なしの部」試合要領

項目	審判員・立合（動作・発言等）	選手（動作・競技内容）	備考
①試合開始前	<p>○ 3人が定位置についたら、選手を開始線の前に入れる。</p> <p>○ 選手が開始線の前に提げ刀の状態で立った時点で試合を始める。</p> <p>※ 試合は、剣道級位審査8級の審査科目について、主審の号令に従い、選手がその動作をし、その動作について総合判定をし勝敗を決める。<u>（最初の「座礼」から最後の「立礼」までの総合評価により判定を行う。）</u></p>	<p>○ 選手は、主審の右側に「赤」、左側に「白」の選手が入る。</p> <p>○ 自分の番になったら、竹刀を持ち、提げ刀の状態で開始線の前に立つ。</p> <p style="text-align: center;">開始線</p>	<p>○ 選手は、稽古着、袴を着け、左胸に名前を書いたシールを貼る。</p> <p>（胴、垂は着けない。）</p> <p>※ タスキは着けない。（主審の右を赤、左を白とする。）</p>
②礼法 座礼 立礼	<p>「正座」、「礼」</p> <p>「起立」、「提げ刀」、「礼」</p>	<p>○ 号令に従い、座礼を行う。</p> <p>○ " 起立して立礼を行う。</p>	
	<p>「中段の構えを行います」</p> <p>※ 立合は、立礼の後に「抜け刀」をさせ、中段に構えさせる。</p> <p>「帯刀」「抜け刀」</p> <p>「中段に構え」（抜け刀して蹲踞の状態と言う。）</p>	<p>○ 号令に従い帯刀、抜け刀し、蹲踞になる。</p> <p>○ 「中段に構え」の号令で起立し、中段に構える。</p>	
③体の運用	<p>「体の運用を行います」</p> <p>「前後の送り足、始め、やめ」</p> <p>「左右の送り足、始め、やめ」</p>	<p>○ 号令に従い、前後の送り足を行う。</p> <p>○ " 左右の送り足を行う。</p>	<p>○ 立合の号令により6回程度行う。</p>
③二挙動打ち 正面 左面 右面 右小手 右胴	<p>「二挙動打ちを行います」</p> <p>※ 選手が中段になったら、号令をかける。</p> <p>「二挙動の正面打ち、連続2回、始め」</p> <p>「二挙動の左面打ち、連続2回、始め」</p> <p>「二挙動の右面打ち、連続2回、始め」</p> <p>「二挙動の右小手打ち、連続2回、始め」</p> <p>「二挙動の右胴打ち、連続2回、始め」</p>	<p>○ 号令に従い、連続2回正面を打つ。</p> <p>○ " 連続2回左面を打つ。</p> <p>○ " 連続2回右面を打つ。</p> <p>○ " 連続2回右小手を打つ。</p> <p>○ " 連続2回右胴を打つ。</p>	<p>○ 「面」「小手」「胴」と大きな声を出して打つ。</p> <p>○ 中段の構えから1歩出ながら二挙動で打ち、1歩下がって元の位置に戻って中段になる。</p> <p>これを各2回行う。</p>
④連続打ち その場正面 前進後退正面 前進後退左右面 左右開き左右面	<p>「連続打ちを行います」</p> <p>「連続その場の正面打ち、始め、やめ」</p> <p>「連続前進後退正面打ち、始め、やめ」</p> <p>「連続前進後退左右面打ち、始め、やめ」</p> <p>「連続左右開き左右面打ち、始め、やめ」</p>	<p>○ その場の正面打ちを行う。1歩下がって上段をとり、1歩前に出て正面を打つ)</p> <p>○ 1歩前進、1歩後退しての正面打ちを行う。</p> <p>○ 1歩前進、1歩後退しての左右面打ちを行う。</p> <p>○ 左右開き左右面打ちを行う。右に一步開いて左面を打ち、左に一步開いて右面を打つを行う。</p>	<p>○ 「面」と大きな声を出して打つ。</p> <p>○ 各科目とも、打ち終わったら中段になっての次の号令を待つ。</p> <p>○ 立合の号令により6回程度行う。</p>
⑤踏み込み打ち 正面 右小手 右胴	<p>「踏み込み打ちを行います」</p> <p>「踏み込んで正面を打て」</p> <p>「踏み込んで右小手を打て」</p> <p>「踏み込んで右胴を打て」</p>	<p>○ 踏み込み正面打ちを往復1回行う。</p> <p>○ 踏み込み右小手打ちを往復1回行う。</p> <p>○ 踏み込み右胴打ちを往復1回行う。</p>	<p>○ 立合は、毎回「踏み込んで〇〇を打て」を言う。（各2回）</p>
⑥礼法 納刀 立礼	<p>「納め刀」</p> <p>「礼」</p>	<p>○ 納め刀をした後、立つ。</p> <p>○ 立礼をし、その場で審判の判定を待つ。</p>	
⑦判定	<p>○ 主審は(立礼後)「判定」の号令をかる。</p> <p>○ 副審は、その号令で旗を掲げる。</p> <p>○ 主審は、本数を確認し「〇対〇勝負あり」を宣告する。</p> <p>※ 判定の「棄権」はできない。</p>	<p>○ 主審の判定後、退場する。</p> <p>○ 次の選手は、前の選手が退場したら入場し、開始線前に立って主審の号令を待つ。</p> <p>※ 判定に対する異議申し立ては認めない。</p>	<p>※ 主審は、自分の判定と副審2人の判定が異なった場合は、旗を持ち替えて宣告</p>